

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2015年7月
第21号
(年4回発行)

お盆号

発行部数3千部



「施餓鬼会は何のための法要か」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／「お地藏様」は仏さま？
実践教室／お供えする花

- ・西願寺大施餓鬼会法要のご案内
- ・お盆会／合同新盆供養のご案内

施餓鬼は何のための法要か

毎年8月、西願寺で営まれる施餓鬼会法要は、お施餓鬼などとも呼ばれる仏教行事の一つで各宗派多くの寺院で法要が営まれます。

西願寺で年に一度の大法要とされるこの施餓鬼会とはどのような法要なのか今一度ご住職にお話しを伺いました。



施餓鬼棚

問 施餓鬼会法要について教えてください。

住職 施餓鬼会はその名の通り「餓鬼道に堕ちて苦しんでいるものに施しをする」という仏教行事です。餓鬼道とは、仏教の説く六道のひとつで、広く餓鬼の心を持った者の世界を指しています。

問 六道とは何ですか？

住職 「六道」というのは「六道輪廻」のことです。「天道・人間道・修羅道・畜生道・餓鬼道・地獄道」の六つの迷いの世界がそれです。仏教では、人間は解脱という悟りを得て涅槃を成就するまでは、因果に応じてこの六道の世界に生まれたり死んだりして輪廻しなければならぬとされています。

問 施餓鬼会ではなぜ餓鬼道に堕ちているものの為の供養が行われるのでしょうか？

住職 餓鬼は自分を映す姿であるとも考えます。人の心には、多かれ少なかれ誰でも餓鬼の心があるのではないのでしょうか。その餓鬼の心を反省し今生かさせて頂いている自分というのを意識し救われる功德を積むのが施餓鬼会の意義のひとつです。また、施餓鬼会では、餓鬼に限らず、有縁無縁全ての諸霊を供養します。

問 実際の西願寺の施餓鬼会法要ではどのようなことをするのでしょうか？

住職 外陣に内陣に向かって設けられた施餓鬼棚

に「三界万霊牌」や初盆の戒名を記した位牌を置き、浄水や食物をそなえ棚の後ろには五如来幡を立てて法要を営みます。

三界とは、私たちが生死を繰り返しながら輪廻する世界、欲界・色界・無色界、または、現在・過去・未来の3つの世界で、それは生けとし生けるものすべてがめぐる世界のことです。

問 では、三界万霊牌とは、餓鬼をはじめこれら全ての精霊のための位牌ということでしょうか？

住職 そうですね。それらすべての霊に施すことで、その功德は施主やそのご先祖様にもたらされると考えるのですよ。

問 とところで、施餓鬼会というが大勢のお坊さんが参集して法要が営まれる様が壮観なんですけどどのようなお寺の関係で何カ寺位が集まるのでしょうか？

住職 浄土宗では、各県を教区でわけ埼玉では、それを4分割してそれぞれを組とし西願寺は2組の草加部という

十一カ寺でなるグループに属しています。施餓鬼会では、そのグループのお寺を順練りにそれぞれ手伝いに行きます。だから施餓鬼会では十一カ寺のお坊さんが参集します。私もお寺に参りますし、グループ以外の法類と呼ばれる親戚関係などのお寺などのお手伝いにも行くんですよ。

問 それでは施餓鬼会の時期が重なるとお忙しいですね。法要の中で紙製の花びらのようなものが撒かれますが…。

住職 それは華葩けはと呼ばれるものです。散華の際に撒き場を清め仏を讚美する意味があるんです。仏や菩薩が来迎した際に讃嘆するために大衆や天部が華



を降らしたという故事にちなんでいるようです。施餓鬼会の際に華葩を持ち帰られ一年間仏壇に置いておく方もいらっしゃると思いますよ。

問 なるほど。一年の思いを込めるということでしょうか。では、最後に、私たちは施餓鬼会をどのような心持ちで参列したらよいのでしょうか？

住職 日常生活の中で私たちは、いろいろな欲により穢れていくものだと思います。施餓鬼会をとおして自分を振り返り、自身の中に巣くう「餓鬼」の心を反省し気持ちをしなす機会になればよいと思います。

問 施餓鬼会では施すことの大切さ、また自分も施され生かされていることに気付けるとよいですね。本日はありがとうございました。



日本人に大人気！

『お地藏さま』は仏さま？

山道や道端などあちこちの場所で見かけたり、子どもの頃に読み聞かされた昔話にも数多く登場するお地藏さま。私たちには、馴染み深いこのお地藏さまはいつたい何者なのでしょう？



西願寺六地藏／元禄13年(1700年)建立

厳密にいうと、仏さまと呼ばれるのは悟りを開かれた如来のことで、阿弥陀如来や釈迦如来、薬師如来などが一般に仏さまと言われます。お地藏さまは、正しくは地藏菩薩と言います。菩薩とは、道を求め修行中の身を指す言葉ですが、お地藏さまは、仏さまより私たちに一歩ちかく、仏の教えを広めたり、願いを聞いてくれるとされ、広い意味で仏さまと言われています。

地藏菩薩は、お釈迦さまが亡くなったのち、五十六億七千万年後に弥勒菩薩がこの世に現れるまで現世に仏が不在となってしまうため、仏さまのかわりに人々を救うためにこの世に出現したことになっています。地藏の名は、サンスクリット語のクシテイ・ガルバを意訳したものでクシテイは「大地」、ガルバは「胎内」「蔵」などの意味があります。大地が全ての命を育む力を蔵するように苦悩の人々をその無限の大慈悲の心で包みこみ救うところから名づけられたとされます。

地藏菩薩は、人々の苦しみを代わりに受けることから、代受苦の菩薩とも言われています。「子安地藏」や「とげ抜き地藏」「身代わり地藏」また、この世に生を受けなかった水子を供養する「水子地藏」など数えきれないほどに名前があるのもお地藏さまが、それだけ一般大衆に親しみやすくどんな願い事でも頼める菩薩さまとして認知されているからでしょう。

「六地藏」

地藏菩薩は、六道輪廻から迷える衆生を救い出す役割を担った菩薩です。六道とは、地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人道、天道の六つで、衆生が輪廻を繰り返す六つの世界です。この六道のそれぞれを救済している姿を六地藏として表したものです。

「お供えの花」

仏前にお花などをお供えすることを、**供華**といいます。仏さまを敬う心、感謝の気持ちからお供えするものです。また、美しくお花が供えられたお仏壇の前に座ると心が和んでいきます。

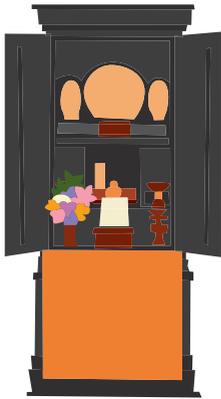


仏教の中で、お花はお釈迦さまがご存世の頃から盛華や散華などさまざまに方法でお供えされました。盛華は籠などに花びらを盛ることで、散華とは摘み取った花びらを舞い上げて空中に散らすものです。日本では、この散華が法要儀式などで作法として行われます。その時には、華葩（けは）と呼ばれる美しい紙製の花びらをつけて行われます。

日本では、盛華などではなく花瓶にお花をお供えするのが一般的です。仏前にお供えされた四季折々の花、その一つ一つの精一杯のいのちを通して、阿弥陀如来さまの限りないいのちに気づかせていただきます。

お供えする花は、花屋さんで売られているものに限られているのではなく、庭に咲いた花や摘んできた花を活けてもよいのです。ただ、造花であったり、毒々しい色のものや、とげのある花、毒のあるものはふさわしくありません。

また、お浄土のすがたをあらわしているのがお仏壇です。その花が枯れたままになることのないよう、枯れないうちに新しいものと差し替えたり、水の入れ替えをするなど毎日のお仏壇のお給仕を大切にしたいですね。



暮らしの中の
仏教語

「道楽」【どうらく】

道楽というと「酒やギャンブル、遊興にふける道楽息子に手を焼いている…」なんてぼやく姿をテレビドラマの中に見たりします。道楽の言葉には、他に食道楽や着道楽なんていうのもありますね。度が過ぎる楽しみという感じであまりいい意味では使われない言葉です。

さて、言葉の起源となっている仏教での道楽は「ドウキョウ」と読み仏道を求めるという意味なのだとか…。道楽とは「道を解して自ら楽しむこと」で仏道修行によって得た悟りの楽しみ(悦び)を意味し法悦の境界(きょうがい)をいう言葉だそう。

また道楽と書いて「みちがく」という読み方もあり、これは雅楽で楽人が行列の先頭で行進しながら演奏することをいいます。



■西願寺大施餓鬼会法要のご案内

先祖追福のために、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分自身の福德延寿を願う法要であるお施餓鬼は、年に一度の大供養法要ですので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席ご参詣いただき御仏前にご焼香供養ください。

日時 平成27年8月18日（火）

13時より余興（落語）

14時より法要

場所 西願寺本堂



施餓鬼会法要でも撒かれる「華葩（けは）」

華葩は、法会で道場を清める為に行われる散華の際に撒かれる蓮の形などを模した色紙。元来は生花が使われていた。



当日は、

三遊亭春馬師匠の落語があります。皆さまお誘い合わせのうえ足をお運びください。

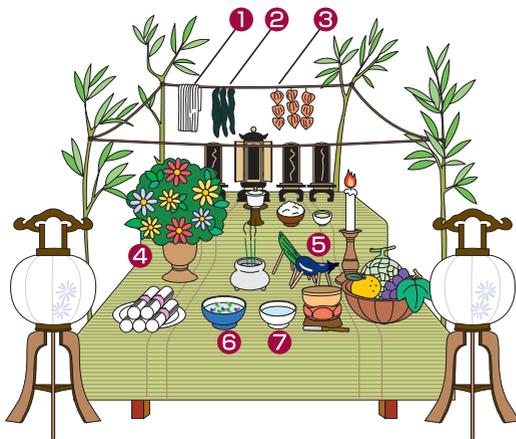
●お施餓鬼

施餓鬼会は、「救拔焰口餓鬼陀羅尼經」というお経に説かれた阿難尊者の話しに由来しています。

施餓鬼棚に「三界万霊牌」や初盆の戒名を記した位牌を置き、浄水や食物を供え、五如来の「施餓鬼幡」を立てて法要を営むのが習わしです。



お盆の風習の一つ精霊棚



①素麺 ②昆布 ③ほおずき ④仏花

⑤なす・きゅうり ⑥みずのこ ⑦閻伽水

精霊棚は盆棚とも言われ、位牌を安置しお供えをする棚です。台の上に真菰（まこも）を敷き四隅に葉のついた青竹を立て、その上部に縄を張ります。縄には、ほおずき、昆布、素麺などを吊るし、真菰の上には、中央奥に先祖たちの位牌を安置し、仏具、花、ナスの牛やキュウリの馬、季節の野菜や果物、精進料理などの仏膳を供えます。

掲 示 板

西願寺別時念佛会の ご案内

こころの安らぎともなるお念佛
をご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日 18時より

場所／西願寺本堂

■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。

■申込・お問合せ

西願寺

TEL.

048-925-1723

◆お盆会/合同新盆供養のご案内◆

日時 平成27年8月2日（日）

10時～

場所 西願寺本堂



浄土宗は毎月25日（法然上人のご命日）を「世界平和念仏の日」と定めています。平和な世の中、人類の幸せを願い、正午にお念仏をとなえましょう。

Q & A



お墓のカロートがいっぱいになってしまいました。次に誰か亡くなくてもお骨を納めることができません。どうしたらよいでしょう？



一般に関東では「完全収骨」といって、全部のお骨を集めて骨壺に入れ、それを壺のままカロートに納めるところが多いので、納める骨壺の数にも限りがありますね。

カロートがいっぱいになってしまった場合、骨壺からカロート内にあけて土に返す、骨壺ごと「合葬墓」に移す、新たに墓域を買い増すなど、いくつかの方法が考えられます。ご自身の状況に合わせてご親族と相談されてはいかがでしょうか。

また、亡くなってご遺体を荼毘に付した後のご遺骨を、どのように墓地に納めるかは地方によっても差異があります。先にお話した「完全収骨」以外にも、骨壺には入れず麻袋や桐の箱に入れて納めるところや、カロート内にそのまま撒いてしまう地方もありますし、また、関西の方では「部分収骨」といって、初めから、ご遺骨の一部しか骨壺に入れないところが多いようです。地方や宗派によって、骨壺の大きさや納骨の仕方も千差万別ということです。

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部

東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F

FAX 03(3265)1302 Mail: info@io-con.net

■次号予告

次号は平成二十七年九月発行予定の「秋のお彼岸号」です。



◆編集後記

今年もずいぶん早い時期から夏日と呼ばれる日が天気予報で踊っていました。夏日や真夏日などは一日の最高気温で呼び名が変わるのですが、25度以上が夏日、30度以上が真夏日、35度以上が猛暑日というそうです。今年もいかに快適に過ごすか頭を悩ます季節の到来です。

さて、今号のさんごでは地藏菩薩について掲載しておりますが、近畿地方を中心とする地域ではお盆の時期に子どもたちを主役とする「地藏盆」という行事が盛んに行われるそうです。お地藏さまと子どもが結び付けて考えられるのは、幼くして亡くなった子どもが賽の河原で積んでいる石を鬼がやってきては壊してしまう。そこにお地藏さまが現れて鬼を叱りつけ子どもたちを守ってくれる。というお話しからきているのだとか…。お地藏さまが人気なもうなずけますね。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんご」編集部